

- c Finally, one night the inevitable happens, and Dad feels the dreaded crunch under his wheels. 砕ける音
- d However, accepting our children unconditionally does not mean tolerating inappropriate or irresponsible behavior. ～を許容する
- e We also need to let our children know that achievements or compliance with our requests are not prerequisites for being loved. 従うこと
- f We can think of our approval as a way of affirming our child's **emerging** self, helping him build a **positive** self-image and healthy self-esteem.
- g When we accept our children unconditionally we let go of any inclination we may have to want to change their inner selves, who they are.

(2) 下線部㉔を和訳せよ。(10点)

(3) 空所㉕に入る内容を、45字以内の日本語で答えよ。ただし、句読点も字数に含める。

(15点)

(4) 本文の内容と一致するものを、次の中から1つ選び、記号で答えよ。(5点)

- a Parents show their love to their children with warm expressions or physical contact until their kids grow up.
- b In order to accept their children entirely, parents don't need to abandon their own longtime dreams.
- c Parents' own horizons are widened when they encourage their children to make their dreams come true.
- d Sometimes it helps for parents to set conditions for giving love to their children in order to discipline them. 形式主語 真主語
- e Jason's father is in a good temper when Jason runs up to greet his father with a hug.

## 本文の構成

全体のトピック：親が子を受け入れるということはどういうことか

- ① **導入**：「受け入れる」という言葉のものと意味が伝える、あるべき親子関係
- ② **本論**：子供を受け入れる時、親は子供の個性や望みを大切にしなければならない
- ③ **本論**：愛情に条件を付けてはいけない
- ④ **本論**：許されない行いを拒否すると同時に、子供を受け入れることは可能である
- ⑤～⑨ **例示**：ジェysonと父親のエピソード

⇒親から子供への愛は無償で与えられるべきで、親は愛情を持って子供を受け入れながらも、ルールや限度は守らせるようにする必要がある

## 解答

- (1) (a) g (b) e (d) d (e) c
- (2) しかし、子供に必要なのは、目標や成果に向かって努力することであって、親に受け入れられ愛される基本的権利を得るために努力することではない。
- (3) 子供の許されない行いは拒否し、ルールや限度を守らせるが、子供自体は受け入れるということ。(44字)

## 別解

子供がすることをいつも許容するわけではないが、子供を助けてあげる気持ちはあるということ。(44字)

- (4) c

## 解説

- (1) **テーマ問題** 一般論から具体例への展開を把握する

### Process

【1】各パラグラフのつながりを読み解きながら、空所にはどのような内容が入りそうか推測する

「必修テーマ 読解」の Point 《1》より、まず、各パラグラフが英文中で担う役割を見きわめよう。次に、各選択肢の内容を見る前に、空所の前後の文脈から、空所に入る内容の方針を自分でイメージしておこう。

なお、後の【2】で選択肢を選ぶ際も、まず、大まかにどのブロックに入る選択肢であるか、おおよその見当をつけることから始めるとよい。

### 導入

第1パラグラフ：「親は accept つまり、『自分の方へ引き寄せる』ことで子供に愛を伝える。」

### 本論

第2パラグラフ：( (a) ) 「こうするためには、親は自分の夢の一部を捨てねばならない。→子供に親の夢を託すか、子供自身の夢の追求を応援するのか→当然、後者だ。」

◀「必修テーマ 読解」  
Point 《1》を確認しよう。

「必修テーマ 読解」の Point 《3》で見たように、指示語をヒントに考えると、空所㉓には、後に続く In order to do this (こうするためには) の this の内容が入ると考えられる。

第3パラグラフ：( ㉓ ) 「愛は無償で与えられるもので、よい行いのご褒美ではない。だが、そうすると子供が何かに向かう努力をしなくなるのではと心配する親もいる。」(下線部㉔が続く。)

空所㉓の直後で Love should always be freely given, … (愛は常に無償で与えられるべきもの) と主張し、それ以降の文で具体例を挙げ、予想される反論を挙げるという構成になっている。したがって、空所には、直後の文と同様に「愛されるための前提条件はない」という内容を述べた文が入ると考えられる。

第4パラグラフ：( ㉔ ) 「許されない行為を拒絶し、ルールや限度を守らせながら、子供を受け入れるというのは可能だ。」

空所㉔までは終始、「愛は無条件で与えられるもの」と述べてきたが、空所㉔の後ろには「許されない行為は拒絶する」という内容が来ているため、ここには逆接の内容が入ると考えられる。

#### 例示

第5パラグラフ：「ジェイソンは、父親から再三注意されたにもかかわらず、また私道に自転車を置きっぱなしにした。」  
( ㉔ )

第6パラグラフ：「父親は怒りを抑える。何が起きたか知らずにジェイソンは父におかえりの抱擁をする。」

空所㉔を含む第5パラグラフ以下は具体的にジェイソンとその父親の話になっている。空所㉔までの内容は「ジェイソンは父親に『車がひいてしまうかもしれないからポーチに置くように』と何度も言われていたにもかかわらず、また私道に自転車を置きっぱなしにした」である。続く第6パラグラフでは怒りを抑える父親に対し「何が起きたか知らずに、ジェイソンは父親に出迎えに駆け寄って抱きつく」とあるから、空所㉔で「父親の恐れていたこと＝車が自転車にぶつかること」が起きたのではないかと予想でき、後ろの第7パラグラフの He carries Jason to the window, where he can see the damaged bicycle. (ジェイソンを窓のところまで抱きかかえて行くと、窓の外に壊れた自転車が見える。) の内容ともつながると推測できる。

第7～8パラグラフ：「父親は壊れた自転車をジェイソンに見せ、事態がわかったジェイソンは父の肩に顔をうずめる。」

第9パラグラフ：「父はどうしてこうなったかを易しく説明し、ジェイソンは泣きながらうなずく。『そばに行ってみよう。もしかすると直せるかもしれない。』父親がジェイソンに伝えようと

◀「必修テーマ 読解」  
Point 《3》を確認しよう。

しているメッセージとは…」(空所㉑が続く。)

## 【2】各選択肢の内容を吟味する

- a 「また、受け入れられ、必要な愛情を受けている子供は、自分自身を愛することを身に付ける。」
- b 「父親は、息子がいつになったら、常日頃言っていることを彼が理解してくれるのかと思いながら、いつものように息子の代わりにそれ(=自転車)を片付けた。」
- c 「とうとうある晩、起こるべくしてその事態が生じた。父親は、車の下でガリガリガリとつぶれる音のいやな感じを受けた。」
- d 「そうは言っても、子供を無条件に受け入れるというのは、子供のする不適切な、あるいは無責任な行いを許容するということとは違う。」
- e 「私たち(=親)はまた、成果を収めたり、親の言うことを聞き入れたりすることが、愛されるための前提条件となっているわけではないということを、子供にわからせる必要がある。」
- f 「親が賛同することは子供たちに芽生えつつある自我を支持することや、肯定的な自己イメージと健全な自尊心を抱くのを助けるための一手段になると考えられる。」
- g 「無条件に子供を受け入れる場合、その子の内なる個性、つまり、その子のありのままの姿を変えたいと思う気持ちは出て来ないものだ。」

選択肢をざっと見ると、**a, d, e, f, g**は**一般的な内容**、**b, c**は父親やジェイソンに関する**具体的な内容**、と**2種類に分けられる**。よって、前者は第1～4パラグラフ、後者は第5パラグラフ以降に入る可能性が高い、と推測できる。以下、各空所について検討しよう。

### 空所㉑

空所㉑までは一般的な内容が入る可能性が高いので、**a, d, e, f, g**を中心に検討していこう。

第2パラグラフで述べられる「親の夢の押し付けではなく、子供自身の夢の追求を応援する」ことで空所㉑の行為は達成されること、さらには、第1パラグラフとのつながりも考慮に入れながら、選択肢を検討してみよう。すると、**g** When we accept our children …が第1パラグラフとつながり、主節の their inner selves, who they are (子供のありのままの姿)を尊重する、という内容は空所以下の流れと合っている。したがって、**g**が入る。**e**も「子供に理解させる必要がある」と、「そのためには…」というつながりだけを見ると可能そうであるが、We also need to … はこれ以前に「…する必要がある」という主張が必要であるのに対し、第1パラグラフは accept の説明に終始しているため、不適当である。